

# 科学技術に対する社会からの信頼獲得、 政策の実現性確保の在り方について

# 1. 基本的考え方

- 科学技術イノベーション活動は社会から独立しては存在せず、科学技術イノベーション政策を今後とも強力に進めていくためには、社会の理解・信頼・支持が不可欠。
- このため、これまでも、「科学技術に関する理解増進・関心喚起(第1期)」「社会とのチャンネルの構築、倫理と社会的責任(第2期)」「社会・国民から支持される科学技術(第3期)」「社会とともに創り進める政策の展開(第4期)」を施策の一つの柱として社会の理解・信頼・支持を得る取組を推進

○一方、東日本大震災や研究不正の発生等により、科学技術と社会との関係が変化

- 科学技術・学術に従事する者が、東日本大震災に際して、必ずしも国民の期待に十分には応えることができなかったことを率直に反省し、国民との信頼関係を再構築すべき。
- 科学研究における不正行為は、科学の本質に反し、人々の科学への信頼を揺るがすものであり、研究活動の公正性の確保がより一層強く求められる。



第4期基本計画の「社会とともに創り進める」視点に加えて、「社会からの信頼獲得」の視点を特に重視することが必要ではないか。

# 2. 科学技術に対する社会からの信頼獲得、政策の実現性確保に向けた具体的取組

○ 基本的考え方、検証結果等を踏まえて、今後の科学技術に対する社会からの信頼獲得、政策の実現性確保に向けて、以下のような事項が重要ではないか。

## ①社会からの信頼獲得に関する取組

【具体的取組(例)】

A) 研究活動における不正行為、研究費の不正使用に対する取組

- ・研究者、科学コミュニティ等の自律・自己規律による不正対応
- ・大学等の研究機関の管理責任の下での不正防止等への対応の徹底
- ・研究倫理教育・コンプライアンス教育の徹底
- ・不正と認定された事案について、調査結果の公表の徹底 等

B) リスクコミュニケーションの推進

- ・社会が直面する具体的な問題解決に向けたリスクコミュニケーションの場の創出
- ・リスクと向き合う社会・文化をつくるため長期的な時間軸をもってリスクコミュニケーションの場を定着させる取組
- ・ステークホルダー間の連携や調整、トレーニング等の実践能力を職能として身につけた人材育成(評価の改善を含む)
- ・リスクに関する科学技術リテラシー・社会リテラシー(リスクが社会においてどのように捉えられるのかを把握・理解する能力)の向上への取組
- ・社会が直面する問題に関連する成果を社会で活用するためのツール開発(地震・降水モニタ、防災マップなど) 等

C) 倫理的・法的・社会的課題(ELSI)への対応

- ・研究開発プロジェクトの資源の一定割合をELSIに取り組むことに充てる方針の策定
- ・研究者、プロジェクト関係者などに対し、ELSIへの理解を深め、浸透させるための教育研修の実施 等

## ②社会とともに創り進めるための取組

### 【具体的取組(例)】

#### A) 国民の科学技術政策への参加促進

- ・課題設定から解決まで、国民、政策担当者、研究者等のステークホルダーが参画・協働できる常設的な場の構築
- ・研究開発プロジェクトの企画立案及び推進に、国民の幅広い意見を取り入れる取組の実施
- ・社会との対話に関するシンクタンク機能・対話支援を行う仕組みの整備
- ・オープンサイエンスの推進 等

#### B) 科学技術コミュニケーション活動の推進

- ・研究開発プロジェクトの資源の一定割合を科学技術コミュニケーション活動に充てる方針の策定
- ・研究者の評価への科学技術コミュニケーション活動の反映
- ・研究機関等によるアウトリーチへの組織的取組の支援
- ・社会が直面する問題に対し、多様な見解・意見をファシリテートできる能力など、高度な能力を持つ科学技術コミュニケーターの養成
- ・科学館、学校等を活用した科学技術コミュニケーション活動の推進
- ・グローバルな視座に立った対話を行う機会の創出(外国人の参加の促進等) 等

#### C) 人文・社会科学と連携した取組の促進

- ・科学技術の進歩を有効に活用した社会システムの構築等について、人文・社会科学と自然科学が協働する統合的プロジェクトの実施
- ・社会実装を志向した社会技術研究開発やコミュニティーベースド・リサーチ(観測活動などへの市民参加の支援を含む)などの推進 等

## ③政策の実現性確保のための取組

### 【具体的取組(例)】

#### A) 政策の企画立案及び推進機能の強化

- ・研究費、成果、人材等に関する「科学技術イノベーション政策データベース」の構築・活用
- ・「科学技術イノベーション政策のための科学」の推進による政策立案・評価プロセスの改善・充実、人材の育成
- ・政府が適切な科学的助言を得るための仕組みの整備
- ・機能を最大限発揮できる司令塔の在り方 等

#### B) 科学技術イノベーション政策におけるPDCAサイクルの確立

- ・ハイリスク研究、学際・融合領域・領域間連携研究、次代を担う若手研究者の育成・支援等を推進するための研究開発評価の実施
- ・評価の形式化・形骸化、評価負担増大に対する改善
- ・研究開発プログラム評価の実施
- ・評価人材の育成とキャリアパス確保に関する取組の支援 等